

## 旭市チャレンジ通学合宿

通学合宿は、子どもたちが親元を離れ、地域の公民館などで異なる学年の子と2泊3日の集団生活を行います。昼間は学校に登校し、下校後は食事作りや入浴、学習、清掃、布団の上げ下げなど、日常生活の基本を自ら行うことで、子どもたちの自立心や社会性、自主性、協調性を伸ばし「生きる力」を育みます。また地域の人が活動に関わり、地域で子どもを育てる環境が芽生えることも期待され、全国で展開されている事業です。

旭市では教育委員会が主催、青少年相談員連絡協議会や各校のPTAが共催し、ボランティアの学生も参加して平成19年度から実施しています。本年度も、海上地域(鶴巻小・滝郷小・嚶鳴小)と昨年度から始まった干潟地域(中和小・萬歳小・古城小)で実施。参加児童も増え「自分のことは自分でやろう。自分たちのことは自分たちでやろう」を目標に、それぞれ20数人の5、6年生が集団生活を送りました。

### みんなで協力して作った食事

食事は全て自分たちで作りました。1日目は夕食のハンバーグとシチューで、旭市産の野菜や米粉、肉をふんだんに使った料理です。旭市まちおこし産品推進協議会の皆さんが、調理の方法を丁寧に教えてくれました。子どもたちも、ほかの学校の友達が出来たことで交流が深まり、良い思い出になったようです。自宅に帰ってから



宿舎での食事作り

家族に調理して食べさせたいという感想もありました。

### 「もらい湯」を通して地域の人たちと触れ合う

もらい湯にはたくさんの地域の人たちが協力してくれました。「とても明るく、あいさつや態度が良かった」「楽しそうだった。またおいで」など、子どもたちの来訪を喜んでくれました。子どもたちは「温かいお風呂、とても気持ちよかった」と大変感謝し、お礼のキーホルダー作りを頑張りました。もらい湯の行き帰りは青少年相談員の人たちが引率してくれ、保護者からは「たくさんの方と接し成長が見られました」などの感想がありました。

今後も地域の人たちの協力や応援を受けながら、通学合宿を実施していく予定です。

## 第4回 みんなの学校自慢



みんな仲よく  
面倒よく

一中3年  
生徒会長 大木 陽介さん

一中は今年で創立61周年を迎え、歴史と伝統があり、建学の精神「みんな仲よく 面倒よく」を大切にしています。

昔より生徒数は減少しましたが、行事に懸ける気持ちや活気は健在です。中でも運動会での応援合戦は、紅白の応援団を中心に盛り上がり、全校生徒が一つになります。文化祭ではクラス合唱に取り組み、きれいな歌声が体育館いっぱい響き渡ります。またダンスや英語スピーチなど個性溢れる発表も行われます。

日々の生徒会活動では「笑顔あいさつ日本一」を目指し「スマイルアクションプロジェクト」を立ち上げました。



「あいさつ運動」

毎月「1」の付く日を「笑顔あいさつデー」として、生徒会本部や委員会が連携してあいさつ運動を行っています。さらに私たちの学校はチャイムが鳴りません。生徒同士が時間を見て声を掛け合い、授業開始前着席を実践しています。

このように一中は、生徒が自ら考え行動し、協力し合って生活しています。そして友達や先生、地域とのつながりを大事にしている、笑顔溢れる元気な学校です。